

前期基本計画 平成27年度 基本施策方針書

政 策 : 06 総合計画の認知度を高め行財政基盤の確立を目指します

基本施策 : 03 安定した行政情報システム基盤の確保

主管課長職・氏名	情報システム課長 久保 正秋
関係課長職・氏名	

1. 基本施策の実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

		行政サービスの基盤となる各行政情報システムの安定稼働を常時確保するとともに、効率性、安定性並びにトータルコストに配慮し適正なシステム調達が実行されている状態を目指します。 また、社会保障・税番号制度が円滑に導入され、住民負担の軽減と行政運営の効率化のための情報システム基盤づくりが促進されている状態を目指します。
--	--	---

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし システム安定稼働率 単 位 %	100	100	100	100	100	100	-	
			-	-	-	-	-	0.0	
2	幸福 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単 位 %	61	62	64	66	68	70	-	
			-	-	-	-	-	0.0	
	単 位								

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施 策 名 施 策 目 標 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 06030100 行政情報システムの安定稼働の確保 システム安定稼働率 単 位 %	100	100	100	100	100	100	-	
			-	-	-	-	-	0.0	
2	幸福 06030100 行政情報システムの安定稼働の確保 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単 位 %	61	62	64	66	68	70	-	
			-	-	-	-	-	0.0	
3	暮らし 06030200 番号制度の円滑な導入 滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合 単 位 %	35.8	40	42	43	45	46	-	
			-	-	-	-	-	0.0	
4	幸福 06030200 番号制度の円滑な導入 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単 位 %	61	62	64	66	68	70	-	
			-	-	-	-	-	0.0	
	単 位								

前期基本計画 平成27年度 基本施策方針書

政 策：06 総合計画の認知度を高め行財政基盤の確立を目指します

基本施策：03 安定した行政情報システム基盤の確保

主管課長職・氏名	情報システム課長 久保 正秋
関係課長職・氏名	

2. 基本施策の実現に向けての現状を認識する

(1) 基本施策目標の進捗状況分析

適正なシステム調達については、システム最適化計画に基づくシステム審査会の開催等により、より適正な調達を目指しています。また、仮想基盤の導入によりシステムの集積化および集約化を推進し、ハードウェアとソフトウェアの分離調達および分離更新が可能になったことにより、更なる最適化を目指しています。

社会保障・税番号制度の円滑な導入については、システム改修等により、順次対応している状況です。

(2) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

国の「世界最先端IT国家創造宣言」によるIT活用社会の進展で、住民のライフスタイルやニーズが大きく変化することが予想され、時代に即した行政サービスの提供が必要です。

また、国民生活を支える社会的基盤となる社会保障・税番号制度は全国一斉の取組みであり、その円滑な導入において自治体が重要な役割を果たす必要があります。

(3) 政策との関連性

適切なシステム調達の実行は、資源配分の適正化にもつながり、行財政基盤の確立に寄与します。同様に社会保障・税番号制度の円滑な導入は、住民サービスの向上と共に効率的な行政運営につながり、行財政基盤の確立に寄与します。

3. 基本施策の実現に向けての取り組みを決定する

(1) 基本施策の達成（実現）に向けた基本計画内の取り組みと方針

適正なシステム調達については、システム最適化計画の随時改正や、システム審査会の開催等により、より適正な調達を目指します。

システム更新は、原則として仮想基盤上を行うことにより、システムの集積化および集約化を推進し、ハードウェアとソフトウェアの分離調達および分離更新を実施していきます。また、仮想基盤上での運用により、より効率的で、より安定したシステム運用を実現します。

社会保障・税番号制度を円滑に導入し、新たな社会制度に向けた、新たなシステム基盤づくりを行います。

(2) 基本計画期間内の取り組みと方針のうち、平成27年度の重点課題

統合型GIS、介護保険システムおよび福祉システムの更新があるため、各システムに最適な仮想化基盤を構成します。また、仮想基盤を強化し、耐障害性や今後の拡張を適切に実施できるようにします。

社会保障・税番号制度の円滑な導入のため、中間サーバ・団体内統合利用番号連携サーバの整備、共通基盤型中間サーバおよび各システムのデータ連携を構築します。また、社会保障・税番号制度対応のために住基LANネットワークをLGWANに接続させることから、適切なセキュリティ対策を行います。

(3) 基本計画期間及び平成27年度重点課題に基づく優先順位の考え方

社会保障・税番号制度の円滑な導入は、国の新たな制度への対応であり、システム更新は住民サービス業務に直結することから、最優先課題であると考えます。また、介護保険システムおよび福祉システムの更新に係る仮想基盤の構成は、その前提作業として位置づけられることから、平成27年度の重点課題と言えます。

